

授業概要

本講義では、人と社会の関わりにおけるさまざまな現象について、心理学的な視点からどのようなことが明らかにされているのかを講義する。基礎的な社会心理学の理論や知見について解説するとともに、実験や調査を模擬的に体験する活動を通じて、どのような方法でこれらが検討されてきたのかについても理解することを目的とする。また、先行研究を鵜呑みにするのではなく、自分が心理学者だとしたらどのように考えるかについて、主体的に検討することも促す。

授業計画

第 1 回	ガイダンス
第 2 回	社会心理学とは何か
第 3 回	社会心理学の方法論
第 4 回	人や社会をとらえる心の仕組み (1) 確認バイアス
第 5 回	人や社会をとらえる心の仕組み (2) 情報処理の基盤
第 6 回	人や社会をとらえる心の仕組み (3) ヒューリスティック
第 7 回	感じたことの影響過程 (1) 気分の効果・影響
第 8 回	感じたことの影響過程 (2) 主観的感覚の役割
第 9 回	感じたことの影響過程 (3) 感情の適応的意味
第 10 回	自己 (1) 自己概念
第 11 回	自己 (2) 自己評価
第 12 回	自己 (3) 他者に見せる自己・見られる自己
第 13 回	態度と態度変化 (1) 態度形成の理論
第 14 回	態度と態度変化 (2) 説得と態度変化
第 15 回	態度と態度変化 (3) 態度と社会行動
第 16 回	筆記試験

到達目標

- (1) 社会心理学の基礎的な知識や概念について自分の言葉で説明できる。
- (2) 社会心理学と日常生活との関わりについて、具体的に意見を述べることができる。

履修上の注意

- (1) 20分以上の遅刻は欠席扱い、遅刻3回で1回の欠席とする。
- (2) 全ての授業でリアクションシートの提出を求め、翌週の授業開始時に講師がフィードバックする。
- (3) 許可の無い限り、機器の如何にかかわらず授業内容の撮影・録音を禁ずる。
- (4) 授業中は、講師からの説明だけでなく、受講者同士での話し合いの場を設ける。

予習・復習

予習：配布資料や教材に目を通し、疑問点や知りたい点を考えておくこと。
復習：分かった点や興味を持った点、よくわからない点についてまとめておくこと。
(疑問点については授業内でフィードバックを行う)

評価方法

成績評価の基準：リアクションシート (40%)、定期試験 (60%) で評価する。定期試験は、穴埋め式・論述式で行う予定である。詳細は授業内で指示する。

テキスト

教科書は特に指定しない。毎回の授業でパワーポイント資料を用いる。必要に応じて参考資料を授業内で指示する。